



野の花を摘んで
作者：岡田万知子さん

大月町
議会だより

令和7年11月1日発行 高知県大月町議会

第122号

9月定例会

まちづくり実現へ

認定

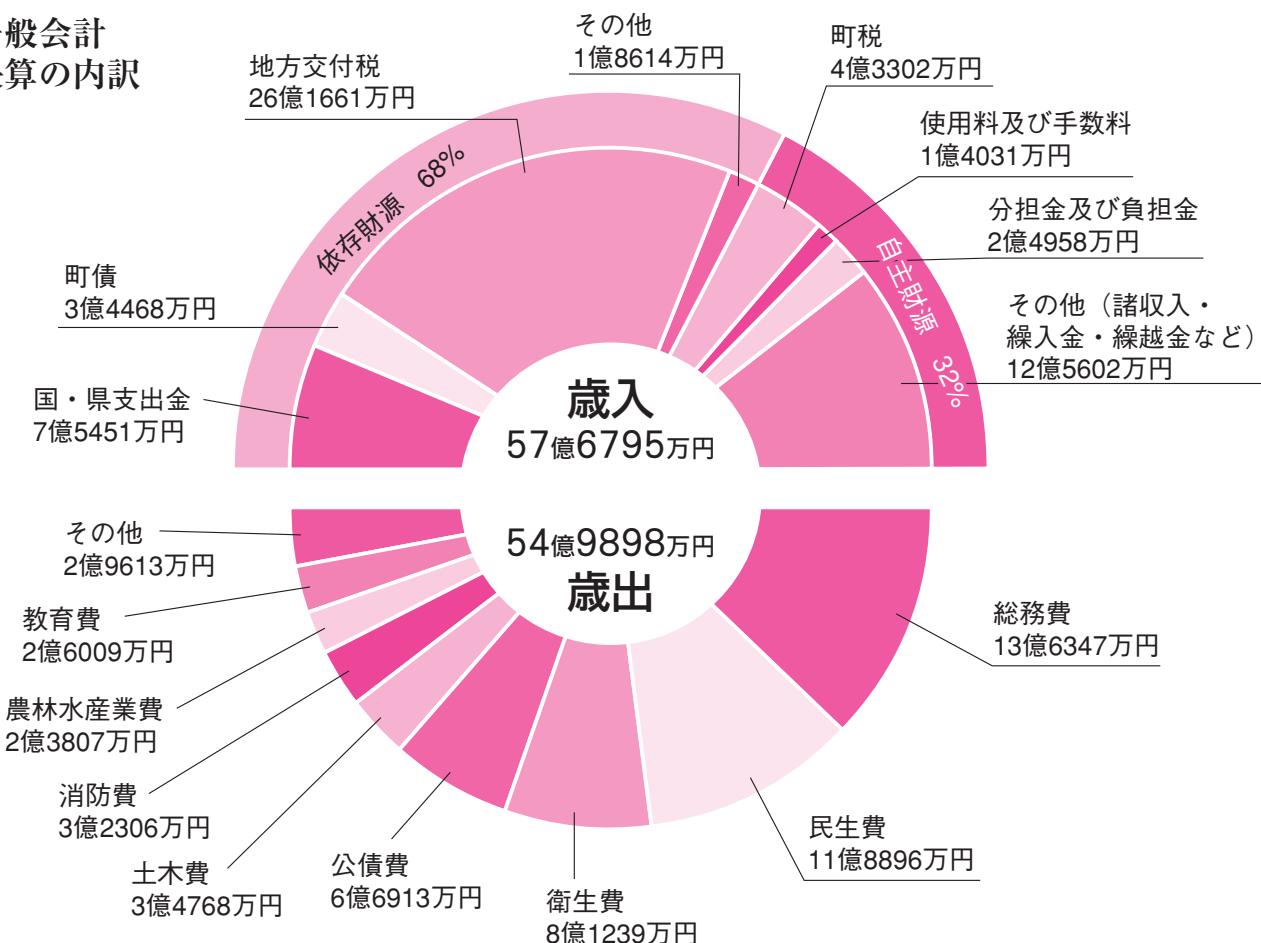
9月定例会

9月定例会は9月4日から9月12日までの9日間の会期で開催しました。

委員会報告2件
報告3件
条例3件
補正予算5件
契約1件
決算認定9件
その他1件
発議2件

9月9日、10日、11日
は決算審査を行い、最
終日に可決・認定しま
した。一般質問は6人
がたち、行政をただし
ました。

一般会計 決算の内訳



会計名	歳入(千円)		前年度対比 (%)	歳出(千円)		前年度対比 (%)
	令和6年度	令和5年度		令和6年度	令和5年度	
一般会計	5,767,951	5,756,050	0.2	5,498,980	5,377,018	2.3
特別養護老人ホーム特別会計	334,348	330,108	1.3	334,348	330,108	1.3
国民健康保険特別会計	686,191	796,050	△13.8	679,315	774,977	△12.3
介護保険特別会計	878,480	879,015	△0.1	833,408	876,012	△4.9
後期高齢者医療特別会計	106,669	103,216	3.3	103,922	101,211	2.7

※前年度対比(%)は、小数第2位を四捨五入

令和6年度 決算審査 夢ある未来への

令和6年度は、こんな事業に取り組みました

商店街等振興計画推進事業

298万円

商工会が主体となって事業を実施。チャレンジショップ、夕涼み祭り、新春マルシェを開催。子どもからお年寄りまで年齢層を問わず多くの方が来場し、弘見地区商店街の活性化に寄与した。

地域おこし協力隊事業

1484万円

都市部の若者が移住し、地域活動を行いながら定着を目指す。令和6年度は3名が起業支援補助を受け、町内に定住し起業するなど、地域で新しい仕事を創出している。

住宅耐震改修事業費

4767万円

町実施の耐震診断及び耐震改修設計を経て耐震改修工事を実施する場合の費用を一部補助

上限：100万円／戸

実施：48件

住宅耐震改修設計補助金

1654万円

耐震診断の結果、倒壊の可能性がある住宅を対象に、耐震改修計画書作成費用の一部を補助

上限：35万円／戸

実施：48件

ブロック塀等耐震対策費

247万円

避難路等に位置する危険性が高いコンクリートブロック塀等の撤去等に係る費用の一部を補助

上限：20万5千円／件

実施：13件

老朽住宅除去事業費

1606万円

基準により老朽住宅と判断され、倒壊による周辺への被害の恐れがあるなどの要件を満たす住宅の除去費用の一部を補助

上限：164万5千円／件

実施：12件

共に乗り越える

こんな取り組みを
実施しました

子育て世帯の負担軽減

5186万円

- ◆出生祝金 255万円
- ◆乳幼児医療費助成金 300万円
- ◆ひとり親家庭医療助成金 251万円
- ◆児童福祉医療費助成金 676万円
- ◆出産・子育て応援助成金 155万円
- ◆児童手当 3549万円



健康を維持するための補助



1725万円

- ◆胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診
444万円
- ◆定期予防接種
集団予防（全額公費負担）
個別予防（一部個人負担）

すべての家庭に減税

9539万円

- ◆所得税、住民税課税者に対し1人当たり所得税3万円、住民税1万円の定額減税。
- ◆電気・ガス・食料品の価格高騰に対し、非課税世帯1世帯当たり3万円・子ども加算2万円給付。
- ◆令和5年度均等割りのみ課税世帯へ1世帯当たり10万円、18歳以下の児童に1人5万円給付。
- ◆令和6年度住民税非課税世帯または均等割りのみ課税世帯へ1世帯当たり10万円、18歳以下の児童に1人5万円給付。



手厚い安心のための補助



1億7956万円

- ◆障害者自立支援給付費
1億5074万円
- ◆老人保護措置事業 2882万円

手をたずさえ

財政の硬直化どう改善



大月の情報通
マグロくん

知ってほしい 直面する課題

けいじょうしうしひりつ

経常収支比率とは

財政構造の硬直度や柔軟性を示す指標として「経常収支比率」があります。経常収支比率は、地方自治体の経常的な収入（地方税、地方交付税、地方譲与税など）に対して、経常的な支出（人件費、扶助費、公債費など）がどの程度充当されているかを示す比率です。

70～80%程度が健全

経常収支比率は、かつて町村では70～80%程度が健全とされていました。経常収支比率の令和5年度の県内町村平均は、88.8%、令和6年度の大月町は91.4%となり、さらに財政の硬直化が進んでいます。

どう改善していくのか

収入を増やし、使い方を工夫して、町民のためにお金をどう作っていくか大きな課題です。町の財政改革が求められています。

知ってほしい 直面する課題

有害鳥獣被害防止



1306万円

- ◆イノシシ・サル・シカ等の捕獲 1193万円
- ◆防護柵設置補助 113万円

漁港修繕等



1960万円

- ◆安満地漁港・橘浦漁港 179万円
- ◆小才角漁港 471万円
- ◆一切防波堤 1310万円

町道維持補修等



2821万円

- ◆町道舗装修繕、草刈り作業
- 側溝清掃、側溝鋼製蓋、
- カーブミラー等

決算審査



令和7年9月9日から11日までの3日間、決算審査を実施しました。



福祉

予防運動教室委託料

活動内容と目指す方向は。

答問 ほつとセンターで月1回麻雀教室を開いたところ10名程度の参加がありました。この教室は好評で自主的に集まり楽しんでいます。将来は地区での自主的な活動を目指しています。

特別養護老人ホーム繰入金

問 一般会計から約一億円を繰入れているが、今後の見通しは。

答 今後も増えていくと予想されます。

特別養護老人ホーム備品購入費

問 備品購入費の約148万円についての説明

答 品購入です。主にパソコンの入れ替えに140万円と備



まちづくり

大月病院の材料費や修繕費

問 前年に比べ高額な経費となつた理由は。

答 材料費が前年より33%高騰しているのと、修繕費については高額な機器を毎年計画的に修繕しているためです。

問 3千万円近く増えている、その要因は。
答 診療報酬の改定と、近隣市町村における病院の閉鎖等が関係していると分析しています。

スマート農業推進事業

問 この事業内容と効果は。

答 ラジコン草刈り機を導入したものです。從事者から、大変助かっているとの声をいただい

幡多地域森づくり

負担金約60万円の効果は。

答 町の方で森林の意向調査や林況調査をしています。その結果を幡多地域森づくりセンターへ共有し、アドバイスや設計などの支援をいただいています。

移住促進事業

問 移住促進事業として約1200万円支出しているが、その効果は。

答 必ずしも移住者数の増に繋がっているとは言えませんが、相談件数から見ると今後も必要な事業であると検証しています。

社会教育費



教
育

公債費



税

答 外商強化業務委託料の費用対効果は、ふるさと振興公社の外商強化として種を蒔いている段階ですので、今後に期待しています。

答 見えてきた効果は、「大人の学校」の継続や文化財調査員との繋がりを持つことで、町史編さん作業に繋げる

職員研修

問 DAIS事業はどんな研修か。
答 大月町が抱える課題、今回は地域資源について、起業人・専門家でチームを組み企画提案を行い、事業採択までを目標にした研修です。

赤字補てんはどれだけか。

答 鉄道経営助成基金負担金約583万円です。

不用額

問 民生費の中の社会福祉費の不用額が多いのはなぜか。

答 一時的に医療機関への患者が増加した場合、予算不足を防ぐためです。

条例

全員
賛成

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等

◆大月町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

部分休業の取得パターンの多様化等

◆大月町議会議員及び大月町長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定

作成単価の限度額の改正

辺地に係る
総合整備計画

全員
賛成

◆樺ノ浦

小型動力ポンプ付積載車購入
事業費 1130万円
(うち辺地対策事業債 1090万円)

◆柏 島

津波浸水区域外へ下水処理施設移設
事業費 3000万円
(うち辺地対策事業債 580万円)



下水処理施設工事の様子

契約

全員
賛成

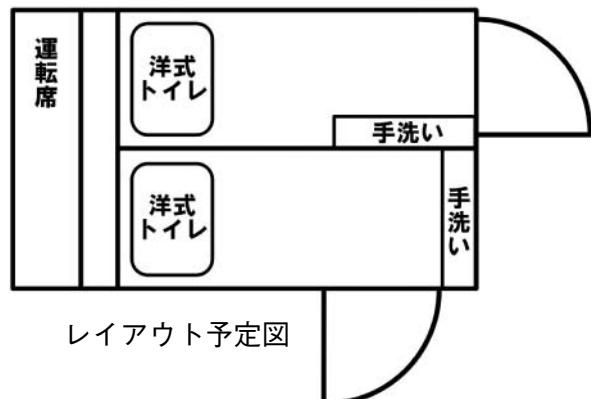
◆令和7年度小型自走式水洗トイレカー購入契約の締結

・契約金額

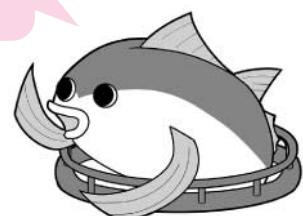
8,866,712円（消費税を含む）

・契約の相手方

株式会社特装高知



トイレカーは災害時だけでなく、イベントなどにも使用できるよ。



大月町の情報通 マグロくん

◆町道古満目線落石対策工事請負契約の変更に係る専決処分

・今回変更による増額

4,972,000円（消費税を含む）

・変更の理由

ロープ伏工の施工範囲を広げる。
電線防護管を設置する。

全員
賛成

意見書

米の安定供給体制の強化を求める意見書

- 根本的な米不足の原因を明確にし、将来に向けた需要安定策を講じること。
- 農家が安定的に米づくりを継続できるよう、価格保証や所得補償等を行うこと。
- 肥料・燃料・資材等の高騰に対する補助を強化すること。

米の安定供給、地域医療体制確保の意見書は、中田議員が賛同者を得て提出。

- 令和8年度診療報酬改定に向けて、物価高騰及び人件費の上昇へ適切に対応し、病院経営の安定に資するよう適切な診療報酬の改定を行うこと。
- 病院経営の現状を考慮し、地域医療を守るために、診療報酬改定や新たな仕組みの導入や緊急的な財政的支援を実施すること。

小規模事業者等の事業存続や日本経済の振興、ひいては国民生活を守るため、インボイス制度の廃止を強く要望する。

インボイス制度廃止を求める意見書



病院経営を安定化させ地域医療を守る

意見書は、全て関係省庁等に送付しました。

全員
賛成

9月補正 基金・タンク車購入



一般会計 2億8276万円

財政調整基金
1億2351万円

消防タンク車等購入
1億910万円

主な使い道
ほっとセンタートイレ改修
178万円

特別会計

国民健康保険特別会計
688万円

介護保険特別会計
4571万円

給与集中処理特別会計
450万円

後期高齢者医療特別会計
275万円

議会活動報告

9月末時点

総務厚生常任委員会

「福祉の充実をめざす住民主体のまちづくり」をめざし、社協への所管事務調査を含め6回の会合を持ちました。大月町議会にあげられた陳情審査をしました。

龍ヶ迫地区懇談会



産業建設常任委員会

「地域経済の活性化」をめざし、4回の会合を持ちました。四万十ドラマ視察（所管事務調査）や陳情の審査をしました。

議会広報常任委員会

5回の会合をもち、大月町議会だより121号（3月臨時会・6月定例会）を発行しました。

地区懇談会

芝、柏島、頭集、平山、赤泊、大浦、本田、春遠、姫ノ井、安満地、本村、龍ヶ迫、小才角、成畑、泊浦、周防形、長沢のみなさん、ありがとうございました。

議会のあり方検討特別委員会

4回の会合を持ち、ただいま検討中です。

研修会に参加

7月

- ◆高知市で議会広報研修会—内容は、「議会広報の枠組みと戦略的広報」
- ◆高知市で県市町村議会議員研修会—内容は、「地方議会の役割 地方の改革は議会から」

8月

- ◆梼原町で高幡町村議会議長会 議員研修会—内容は、「いつまでも住み続けられる集落づくり」

未来について
議会だよりが前より見やすくなつた。毎号の議会だよりが楽しみ。若い方の政治離れ改善の為、もっと情報を発信して欲しい。もっと情熱を感じたい。50年目を目指し健康に気を配りながら見守つていきます。

大月町が大好き
昭和10年のうちに私財を投じお猿公園までの道を整備した中田宏氏の三女として大月町に生まれる。昭和33年に結婚し2人の息子に恵まれ、昭和45年には大月町新庁舎移転と同時に喫茶店を開業。45年間、町内の方々や議員同士が珈琲を飲みながら熱い討論を交わす事も少なくなかつた。父が愛した大月が大好きで、大月町の歩みを肌で感じられた事が一番嬉しい。



みんなの広場

大月に生まれて90年

生き残りをかけた熱意と信念

西粟倉村に学び大月町に活かす

西粟倉村を視察

村の森林を地域資源として活用し、林業6次化を進め成功している西粟倉村を5月20日に視察した。

合併に揺れる

当時、西粟倉村は村の合併問題で揺れた。しかし、最終的には、「村を残したい」という村長の強い信念で、平成16年に合併離脱を宣言し自立の道を選んだ。

百年の森林構想提唱

村には金もない、何もないと職員は悲観したが、村長は、「村には山がある」と激励。村が存続していくために、平成20年に森林資源を最大限活用する「百年の森林構想」を掲げた。

熱意　信念　共感

これは当時の村長の生き残りをかけた熱意と強い信念に村民の共感が得られた結果であ

さまざまな工夫

「上質な田舎」をめざし、所有者が分散して管理されていない私有林を、村が10年間預かり共有の財産として管理するシステムを作りと、

間伐材を使用した商品開発やマーケティングを行う事業を打ち立てた。

働かない者は去れ

「自治体は中小企業だ、自治体が最終就職ではない。働かないものは去れ」。村長の言葉として紹介された。

大月町に活かす

大月町も積極的に学者もいる。平成20年から令和5年度までに269人が移住し、人口減少率が緩やかになっている。

体制づくりが急務。

050年の予想人口1800人が現実のものとなつてからでは遅い。

研修を受ける大月町議員。説明を担当された40代の職員も明朗闊達で自信にあふれていたのが印象的であった。



一般質問

新たな産業振興・観光拠点

道の駅リニューアル計画は 基本コンセプトを共有し取り組む／町長



安岡 利治 議員



新たな道の駅を目指して

岡田町長 リニューアル計画に係る基本コンセプトの取りまとめよう準備を進めています。ドバイザーを招聘し、計画に係る基本コンセプトの取りまとめよう準備を進めています。

岡田町長 リニューアル計画については、担当課と協議を行い、会議のメンバーを中心

に検討会を立ち上げ、県の事業を活用してアドバイザーを招聘し、計画に係る基本コンセプトの取りまとめよう準備を進めています。

月が経過している。この間の進捗具合はどのようになっているか。

岡田町長 概要につきましては、一階部分を増築し、売店を集約し

道の駅リニューアル計画がふるさと振興公社より提出されたと聞くが、その内容は。

岡田町長 リニューアル計画の組織改編が、昨年度末に行われたと聞く。その内容は。

岡田町長 地域産業・地域経済の発展と活性化を目的とする重要な組織であります。異なる公会の発展には、若い人材の活用や民間からの人材招聘など、公会の経営改善が図られ

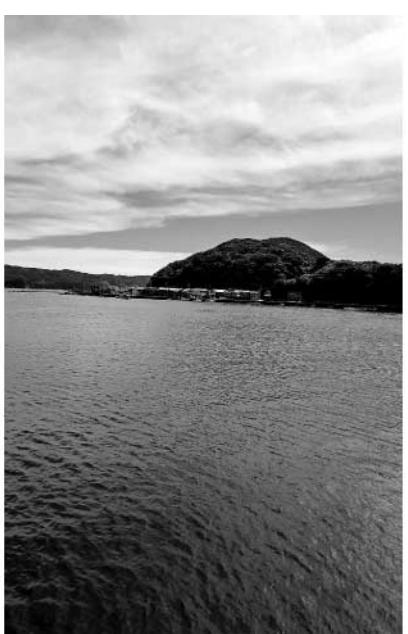
るよう理事会において今回の思い切った人事刷新が打ち出されました。

岡田町長 条例では、どの様な取り組みを求めるか。

岡田町長 指定避難所表され事前避難対象地区の方が、1週間程度避難すると思うが、その場合の受け入れ体制などの備えは出来ているか。

地震臨時情報への対応は 検討していく／町長

防災減災対策



地震臨時情報

地震臨時情報への対応は 検討していく／町長

地震臨時情報への対応は 検討していく／町長

地震臨時情報が発表され事前避難対象地以外の知人宅等へ、避難が推奨されています。災害時の避難とは異なり、ライフラインが稼働していると想定されるので、必要最低限の物は各自で準備するこ

とを基本に考えています。今後は、各種計画の見直しに合わせて対応を検討して行きます。

岡田町長 指定避難所6か所で、避難対象者全員の受け入れはできません。その為、避難所または浸水想定区域強化、ふるさと納税返礼品の開発及び提案等、本町の地域産業の中核となる取り組みを期待しています。地産外商の強化、ふるさと納税返礼品の開発及び提案等、本町の地域産業の中核となる取り組みを期待しています。



中田 岩 議員

観光振興

教育旅行の受け入れ体制を 関係機関と情報を共有する／町長

問 近年における本町の受け入れ数を聞く。

岡田町長 本町が直接の窓口となつて受け入れているわけではあります。しかし、令和3年度の現時点までに13校316名となっています。

問 幡多広域観光協議会が、教育旅行として地域の農林水産業に触ることのできる田舎暮らし体験型修学旅行の受け入れの募集を行っている。非常に需要も高いようだ。本町も観光協会などを介し住民や宿泊業者が参画できるよう、積極的に促してはどうか。

答 柏島の海に、野生のイルカが住み着いてもう6年になる。今や観光資源のひとつ。このイルカに特別住民票を交付し、観光振興に繋げてはどうか。

問 近年における本町の受け入れ数を聞く。

岡田町長 本町が直接の窓口となつて受け入れているわけではあります。しかし、令和3年度の現時点までに13校316名となっています。

問 幡多広域観光協議会も、民泊できる家庭を増やしたい意向があるようです。本町の観光協会と連携し、町内の宿泊事業者に配慮しながら、進めいかなければならぬと考えています。

問 貴重な自主財源確保の手段の一つとして、税業務を行つてている民間企業は多数あることから、情報収集を行つた上で慎重に判断する必要がありますと考へています。

問 貴重な自主財源確保の手段の一つとして、税業務を行つていている民間企業は多数あることから、情報収集を行つた上で慎重に判断する必要がありますと考へています。

問 南海トラフ地震など、有事の際に少しでも命を守れる可能性を高める手段の一つとして救命胴衣の導入は。

岡田町長 救命胴衣は、命を守る手段の一つとして有効です。国・県の補助などがあれば、活用していきたいと考えています。

また、救命胴衣が避難時に命を守る有効な持ち物の一つとして、



関係団体との連携

ふるさと納税業務

慎重に判断／町長



自主財源の確保を

岡田町長 非常に良いアイデアだと思います。一度、柏島地区の方へ投げかけ、慎重に判断するようにします。

（13） 大月町 議会だより

命を守ること

救命胴衣の備えを 有効な持ち物／町長

問 貴重な自主財源確保の手段の一つとして、税業務を行つていている民間企業は多数あることから、情報収集を行つた上で慎重に判断する必要がありますと考へています。

問 貴重な自主財源確保の手段の一つとして、税業務を行つていている民間企業は多数あることから、情報収集を行つた上で慎重に判断する必要がありますと考へています。

問 南海トラフ地震など、有事の際に少しでも命を守れる可能性を高める手段の一つとして救命胴衣の導入は。

岡田町長 救命胴衣は、命を守る手段の一つとして有効です。国・県の補助などがあれば、活用していきたいと考えています。

また、救命胴衣が避難時に命を守る有効な持ち物の一つとして、

今後広報等で周知を図りたいと思います。

防災・減災対策

時間がかかりすぎではないか

協議を重ね進める／町長



米谷 勝市 議員

問 3月議会定例会で一般質問した件について再度の質問。新たに被害想定が出されて半年が経過した。3月当初は、まだ情報が入っていないとの答弁だったが、新たな被害想定を踏まえ、事前復興計画の進捗状況は。

大野総務課長 事前復興計画は今年度に各地区のたたき台、令和8年度に復興計画の案の作成や府内の体制の構築、令和9年度に計画の取りまとめや体制の実施の取り組みを予定しています。



ローリングストックで備えを



危険が伴う違法駐車

問 3月議会定例会で一般質問した件について再度の質問。新たに被害想定が出されて半年が経過した。3月当初は、まだ情報が入っていないとの答弁だったが、新たな被害想定を踏まえ、事前復興計画の進捗状況は。

岡田町長 孤立想定地 た。半年が経過し現状には、分散備蓄を検討する考えはあります

が、保管場所やその後の体制など、例えば備蓄品が期限切れになつた際の処分など、地区との協議が進んでいません。

問 地区との協議はどのくらいの期間で完了する予定か。

岡田町長 要望があつた地区から行い、全く要望がない地区は状況を見て判断します。

問 8月14日、柏島の大型駐車場が満車になりました。櫻ヶ浜キャンプ場手前まで出来た。ゴールデンウィークやお盆の帰省時期と観光シーズンが相まって毎年多くの方で賑わうが、地区の方々だけでは限界を迎えている。その現状をどうくらいい把握しているか。

岡田町長 担当課が状況を確認しました。櫻西園地の大月アウトドアフィールドKAS HINISHIを整備し、櫻西海岸の魅力を発信することで、観光客の柏島一極集中を回避する取り組みを行っています。来年以降の対応として、道の駅などで柏島の渋滞状況を看板等によりアナウンスする予定です。

問 近年、観光客の増加により、橋の上に駐車し写真を撮つたり、サルを見るためにカーブの真ん中に駐車したり、危険な違法駐車が激増している。重大事故になる前に対応を求める。

岡田町長 警察へ巡回パトロール等の協力要請をし、場合によっては回数を増やしてもらう対応を取つてきました。

新たな問題、違法駐車対策は

警察巡回を増やしてもらう／町長



新谷伸議員

避難所設備

被災者の権利保護を

新基準スペース確保に努力／町長

問 政府は自治体向け避難所運営指針を改定し、国際基準を新たに取り入れ、1人当たり3・5平方メートルの占有スペースと災害発生初期段階で50人につき1基のトイレを用意するよう明記。追加整備を含め、避難所占有スペースの状況はどうなっているのか。

岡田町長 本町の避難所への想定避難者数は1800人となっています。高知県が推計し

た想定避難者数を基に1人当たり3平方メートルで、旧基準でのスペース確保はできている状況です。

新基準でのスペースを確保できるよう、本計画も含めた各種見直しを進める予定としています。トイレに関しては、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組みを行っています。6年度実績は、エアコンの買替123基、冷蔵庫63基、計186基の補助を実施し、省エネ家電買替補助金を活用しています。

岡田町長 令和6年度の補助制度・省エネ家電買替費補助金を創設し、

対策の一環として省エネ家電製品に買い替え

る町民の皆様にに対する



避難所の大月小学校

ゼロカーボン

CO₂削減に努力／町長

問 大体達成している認識でいいのか。

岡田町長 まだです。

令和5年3月、本市はゼロカーボンシティ宣言をし、昨年度省エネ家電、冷蔵庫・エアコンに対して補助金制度を設けた。計画に

対しての達成率は、

岡田町長 令和6年度CO₂の排出量1153万キロに対し

23年度家庭部門のCO₂の排出量1153万キロに対し

約0・02パーセントの削減になっています。



補助金対象家電

協力隊制度

ビジョンを持って募集すべき

定着率向上を目指し進める／町長



谷

正美 議員

問 協力隊制度は大月町の1つの歯車として募集をするべき。大月町が持続可能なまちづくりのための、募集に繋げていくべきではないか。

岡田町長 大月町ではこの状況を、協力隊の課題としてとらえ、今年度より地域おこし協力隊における移住定住プロモーション事業を展開しています。その事業の中で検証を行いながら、定着率の向上を目指した取り組みを進めているところです。

問 これまでの10年間で29名（内現役6名）の協力隊員を受け入れてきたが、3年の任期満了を待たずして、半数以上の方が途中退任している。他の自治体に比べ突出しているようと思うが、この件に

関連しての検証はできているのか。

岡田町長 途中退任となつた12名の中には、任期途中で起業をするなどして、町内外に定住した方も3名います。それ以外の方についても、様々な理由により退任となつた経緯がありますが、その中には協力隊の他に新たな目標ができたなどのミスマッチが発生したと推測されるものもあります。

プロモーション事業を展開しています。その事業の中で検証を行いながら、定着率の向上を目指した取り組みを進めているところです。

関連しての検証はできているのか。

岡田町長 途中退任となつた12名の中には、任期途中で起業をするなどして、町内外に定住した方も3名います。それ以外の方についても、様々な理由により退任となつた経緯がありますが、その中には協力隊の他に新たな目標ができたなどのミスマッチが発生したと推測されるものもあります。

この状況を、協力隊の課題としてとらえ、今年度より地域おこし協力隊における移住定住

プロモーション事業を展開しています。その事業の中で検証を行いながら、定着率の向上を目指した取り組みを進めているところです。

関連しての検証はできているのか。

岡田町長 ふるさと納税等、町の貴重な自主財源を獲得し歳入の確保をしていきます。また、歳出におきましても、さらに優先順位や費用対効果などを再度検証する中で、取捨選択等、していかなければなりませんが、その中には

この状況を、協力隊の課題としてとらえ、今年度より地域おこし協力隊における移住定住

プロモーション事業を展開しています。その事業の中で検証を行いながら、定着率の向上を目指した取り組みを進めているところです。

関連しての検証はできているのか。

岡田町長 各課のヒアリングを行い、事業の成果などを聞き取りながら、歳出の縮減に取り組んできたところであります。何を切り詰めるのかと

いう具体的なところに

ついては、現時点でお答えをすることは難しきわですが、令和8年度では、補助金等に

健全化につながる財政計画

健全化につながる財政計画とは
取捨選択等、健全化に努める／町長

賑わいのある町づくり



協力隊活躍の場を

健全化に繋がる財政計画とは、予算の何から出てきた当初予算というものは、住民生活と密着している関係上、どうやってこれからそ

の財政状況を精査していくのか。

健全化に繋がる財政計画とは、予算の何から出てきた当初予算を切り詰めてのことか。また、今ある様々な助成や補助金の見直しは考えているのか。



父の無念
中学卒業後、私は
都会にあこがれ、10
年ほど大阪に出てい
ました。しかし、地
元を離れると、私が
7歳の時に世を去つ
た父のことを思い出
すようになりました。

父は「はやぶさ水産」
を立ち上げ、37歳の
若さでこの世を去つ
たのです。父の無念
を思いました。

私は「はやぶさ水産」
をつづけ、25歳の時に
柏島に帰ってきました。
祖父母は非常に喜ん
でくれました。「バト
ンはお前に託す」祖
父母の無言の言葉です。

父の無念

バトンはお前に託す

からも雇い入れました。
私は都会に見切り
基になりました。

強い決意

9月に入り、セミの大
合唱から秋の優しい虫の
声に変わってきました。

9月議会が終了し、議
員は各委員会、地区懇談
会で皆さんのが声を聞き大
月町の課題に取り組もう
と活動中です。

議会では決算審査と6
名の一般質問が展開され
ました。

わからない言葉も多々
あります。皆さんのが分
かりやすく読んで楽しい
議会だよりをお届け出来
ればと思っています。

(松田照代)

(取材 浦木秀雄)

私は真鯛に着目し
ました。人手がかか
らず、自動で餌の管
理ができるようにな
ったからです。労働
者不足を解消するため、

この若者の取り組
みに熱い視線を送り
たいと思います。



朝5時、鯛の出荷に取り組む



編集後記